

令和7年度第6回一関市水道事業経営審議会

日 時：令和8年3月11日（水）

午後3時から4時30分

場 所：一関市役所会議室棟第2会議室

次 第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 一関市水道事業ビジョン・経営戦略の答申案について

- ① 第5回会議の振り返りと本日の会議の到達点について
- ② 前回の審議会以降の状況と資料の変更点について
- ③ 答申書（案）について

(2) その他

4 答申

5 その他

6 閉会

一関市水道事業経営審議会委員名簿

(敬称略/五十音順)

No.	氏名	フリガナ	備考
1	阿部 博之	アベ ヒロユキ	
2	荒木 克明	アラキ カツアキ	
3	石川 晃	イシカワ アキラ	
4	大浪 友子	オオナミ トモコ	
5	小野寺 敏彦	オノデラ トシヒコ	
6	小野寺 真奈美	オノデラ マナミ	
7	佐藤 愛理	サトウ アイリ	
8	佐藤 一利	サトウ カズトシ	
9	佐藤 誠	サトウ マコト	
10	高橋 系子	タカハシ ケイコ	
11	千葉 理恵	チバ リエ	
12	富永 敏弘	トミナガ トシヒロ	
13	二階堂 満	ニカイドウ ミツル	
14	蜂谷 幸夫	ハチヤ ユキオ	
15	山川 智美	ヤマカワ トモミ	

一関市水道事業経営審議会事務局名簿

No.	氏名	フリガナ	備考
1	伊東 吉光	イトウ ヨシミツ	上下水道部長
2	佐藤 耕一	サトウ コウイチ	上下水道部次長兼水道課長
3	阿部 正則	アベ マサノリ	上下水道部次長兼東部上下水道課長
4	小野寺 勝也	オノデラ カツヤ	経営総務課長
5	米田 理恵子	マイタ リエコ	経営総務課 課長補佐兼総務係長
6	畠山 博文	ハタケヤマ ヒロフミ	経営総務課 課長補佐兼水道経営係長
7	鈴木 文香	スズキ フミカ	経営総務課 水道経営係主査
8	小野寺 涼	オノデラ リョウ	経営総務課 水道経営係主事

令和7年度第6回一関市水道事業経営審議会

令和8年3月11日（水）

一関市上下水道部経営総務課

目次

(1) 一関市水道事業ビジョン・経営戦略の答申案について

① 第5回会議の振り返りと本日の会議の到達点について

② 前回の審議会以降の状況と資料の変更点について

③ 答申書（案）について

① 第5回会議の振り返りと 本日の会議の到達点について

第5回会議の概要

内容

- | | |
|---------|---|
| 1 開催日時 | 令和8年1月27日(火) 午後2時30分～午後4時20分 |
| 2 開催場所 | 脇田郷浄水場 会議室 |
| 3 出席委員 | 9名(欠席6名) |
| 4 議題 | (1) 一関市水道事業ビジョン・経営戦略(案)について
(2) その他 <ul style="list-style-type: none">未普及地域の解消に努めるとは、金額的なもの等をクリアした場合に進めるということでしょうか、現実的にはほぼ無いと考えて良いか。
→ 人口減少が進む中であるとか、整備した場合に経費を回収できるような仕組みにしないと、経営が持続的にできないという結論になり、このような要件を定めた。 |
| 5 主な質疑等 | <ul style="list-style-type: none">施設更新の優先順位というか、どのような基準で考えているのか。
→ 施設更新を進める上で、一関市水道施設整備計画を立て、整備計画での優先順位等を踏まえて決めている。水道事業として、支払方法のなかで手数料が掛からない支払いを進めるということは考えていないか。
→ 手数料が一番安い口座振替にしてもらいたいが、現在普及している電子マネー等の支払いが便利になってきていることで、利便性の面から多様な支払いへの対応をしている。 |

水道事業ビジョン・経営戦略を完成させる

水道事業への理解

- 水道事業の現状と課題を知る
- 次期ビジョン策定までの道筋を確認する

- 人口減少や水道施設の更新見通しなど、将来の事業環境を知る
- 水道の将来像について考える

- 水道施設の見学、令和6年度決算や地域レベルの意見を知り、重点施策を考える準備を整える
- 水道の将来像について考える

- 次期ビジョンを支える主要な戦略軸を整理する
- 最新の水道施設の更新需要や財政見通しから、料金改定の考えなどを検討する

- これまでの会議などを基に作成したビジョン（素案）を確認し、追加すべき視点や修正点を確認する
- 意見を取り入れながらビジョンを完成版に近付ける

第6回

- 前回までの審議会、パブコメ等の意見を反映させた最終案の確認
- 市民への広報手段の確認
- 「自分たちでつくった」と実感し、外に発信したくなるビジョンを完成させる

ビジョン策定

② 前回の審議会以降の状況 と資料の変更点について

前回の審議会以降の意見等の取りまとめ状況

■ パブリックコメント

期 間 令和8年2月10日(火)～2月24日(火)

閲覧場所 本庁経営総務課、千厩支所内東部上下水道課、千厩支所地域振興課を除く各支所地域振興課
市ホームページにも掲載

意 見 ありませんでした

■ 政策調整会議

期 日 令和8年2月2日(月)

市役所庁内の部長級による会議で素案を示し、内容の説明を行いました。

■ 市役所庁内への意見等の募集

期 間 令和8年2月4日(水)～2月16日(月)

市役所各課、事務局へ素案を示し、意見、修正等を募りました。

■ 産業建設常任委員会

期 日 令和8年2月17日(火)

市議会議員で構成される、産業建設常任委員会委員に対し、素案を示し、内容の説明を行いました。

期 日 令和8年3月2日(月)

2月17日の説明に対し、産業建設常任委員会委員より意見や質疑を受けました。

前回の審議会以降の意見等の取りまとめ状況

■ いただいた主な意見や修正内容を紹介します

意見概要	回 答
2ページの注釈で「毎年度ローリング」とある。意味が分からず自分で調べた。表記を変えるか追記をするなどの対応をお願いしたい。	素案2ページ欄外に「関市総合計画に記載しております、ローリングについての注釈を追加しました。 「ローリング……社会経済情勢の変化に合わせて、定期的に計画を見直すこと。」
「お客様」とあるが、「市民」と表現しない理由はなにか	市民とお客様の表現が混在しており、関市以外の利用者や企業、団体等もいることから、「利用者」に統一し、欄外に注釈として「利用者…水道を利用している市民、団体、企業、市外の方」と記載しました。
・総括で、取り組みにより削減された費用の数値は出さないのか。(出せないのか。) ・実現方策と経営戦略における施策によって見込まれる削減額は記載しないのか。	水道料金徴収等業務委託及び水道施設運転管理等業務委託を締結の際には直営と委託の場合における経費試算を行っております。 ただ、水道事業として削減が見込める取組にとどまらず、投資を含む取組も含まれているため、全ての取組での削減費用の算定は行っていないことから掲載できませんでした。
どれだけの効果かを数字で示すと、見る側はビジョンによる効果を把握しやすい。コンサルに委託している場合は算定できると思うが、直営では難しいか。	進捗管理のため、年度において数値化できる取組があるか関係部署と協議し対応できるものについては検討します。

前回の審議会以降の意見等の取りまとめ状況

意見概要

回答

漏水調査を行い、漏水している水道管を更新したことでの効果が示されていないが、有収率上昇率はどれだけか。

漏水調査後も、東山と花泉が改善しない要因は何と捉えているか。漏水以外の要因はないか。

漏水調査は、有収水量の占める割合の多い市街地や有収率が低下している地域を優先に予算の範囲内で行っており、発見した漏水は直ちに修繕しています。

修繕してもまた別の箇所が漏水する（これを漏水の復元という）ため、調査結果や管路の重要性、老朽具合などを考慮し、計画的に管路を更新しています。

管路の更新による効果を有収率で捉えることは、更新する区間毎に漏水量を把握できないため、難しいと考えます。

なお、管路の更新の進捗を示す指標の管路更新率は、概ね類似団体の平均以上となっています。

漏水以外には、無収水量の工事水量や配水管洗浄水量、消防用水量、さらには、配水流量計器の誤差などが要因として挙げられます。

東山地域は、2つの配水池を統合して新たな配水池を建設した工事の関連で、一時的に工事用水量が増加し、有収率が低下したものと捉えています。

花泉地域の有収率は、前ビジョン期間中、暫定で7パーセント以上改善しています。

前回の審議会以降の意見等の取りまとめ状況

意見概要

回答

有収率が改善しない原因が漏水と言うならば、別の調査方法を検討すべき。今後、有収率を上げる取組みはあるのか。

未整備地域でも市で対策を考えてくれているという姿勢が必要で、その施設を明確に示してほしい。

管の布設替えにより、取水制限にならないような安定した水供給を進めて欲しい。

市域が広く管路延長が長いので、全域を調査するのに数年を要している現状にあります。このため、さらに効果的な調査方法の検討や無収水量の把握、配水流量計器の確認をするとともに、近年、導入する事業者が増えている

- ・人工衛星の画像データを活用した漏水調査
- ・人工知能（AI）を活用した管路の劣化診断

などの新技術についても、情報収集・研究していきます。

未普及地域については、現在の生活用水確保支援事業（一般会計）での支援を行っており、その他にも支援を行うことができないかを検討することを取組として掲げたことから、多様な手法による水供給を検討するとした。

素案P.45「水道施設の耐震化」及びP.47「水道施設の計画的な更新」で推進していきます。

前回の審議会以降の意見等の取りまとめ状況

意見概要

水源となる山林での伐採後の植林を行っていないことが水源が枯れる原因。
水道事業として植栽等の対策が必要。

有収率を上げるには、漏水対策は有効なので、「漏水の原因となる老朽管の計画的な更新」もビジョンに書き加えてみてはいかがでしょうか？

回答

水道事業としてできることが限られるが、一関市森林整備計画では、森林整備の基本的な考え方として、「洪水の緩和や良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を推進するとともに、伐採に伴って発生する裸地については、縮小及び分散を図る。また、立地条件や市民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進する。ダム等の利水施設上流部等において、水源涵養の機能が十分に発揮されるよう適切な管理を推進することを基本とする。」としている。

水道事業としては、水道水源保護条例に基づき、磐井川から取水する脇田郷浄水場の上流地域と井戸から取水する前堀浄水場の周辺地域を水源保護区域に設定している。また、機会をとらえ水源涵養の重要性をPRしていくことを取り組んでいきたい。

P.39 01-01水源における水質管理の取組に追加
「また、安定した取水を確保する観点から、森林が持つ水源涵養の機能の重要性について、機会を捉えてPRを行います。」

P.20の§3-2-(3)有収率を次のとおり修正します。
→今後も継続して漏水調査を行い、漏水している水道管を直ちに修繕するとともに、漏水の原因となる老朽化した水道管を計画的に更新していくことが重要です。

「安全 いつでも安心して飲める水道」に修正します。

市民への広報手段

一関市水道事業ビジョン・経営戦略を広く知ってもらうための広報手段

- マスコミへのプレスリリースの実施
- 市ホームページへの掲載
- 市役所各支所への配架
- 関係団体への概要版の配布

一関市水道事業ビジョン・経営戦略
(令和8年度～令和17年度)

令和8年3月
一関市

③ 答申書（案）について

③ 答申書（案）について

案

令和8年3月11日

職員とスライドのみ

一関市長 佐藤善仁様

一関市水道事業経営審議会
会長 二階堂 満

一関市水道事業ビジョン等の策定について（答申）

令和7年4月21日付けで当審議会に諮問がありました標記について、慎重に審議した結果、下記意見を付して別添のとおり答申いたします。

記

この答申は、市民生活や市内の経済活動を支える水道事業を今後も安定的に経営していくため、当審議会において活発な議論を重ね、慎重に審議し、まとめたものです。一関市水道事業ビジョン・経営戦略の策定に当たっては、この答申が最大限に尊重されることを期待します。

なお、本ビジョン・経営戦略に掲げる将来像の実現のために、策定後の本ビジョン・経営戦略及び毎年度作成される財政見通し資料を広く市民に周知するとともに、その実現に当たっては、今後の社会経済情勢の動向に留意しながら柔軟性を持って、持続可能な事業運営に取り組まれるよう要望します。



令和8年3月11日

一関市長 佐藤善仁様

一関市水道事業経営審議会
会長 二階堂 満

一関市水道事業ビジョン等の策定について（答申）

令和7年4月21日付で当審議会に諮問がありました標記について、慎重に審議した結果、下記意見を付して別添のとおり答申いたします。

記

この答申は、市民生活や市内の経済活動を支える水道事業を今後も安定的に経営していくため、当審議会において活発な議論を重ね、慎重に審議し、まとめたものです。一関市水道事業ビジョン・経営戦略の策定に当たっては、この答申が最大限に尊重されることを期待します。

なお、本ビジョン・経営戦略に掲げる将来像の実現のために、策定後の本ビジョン・経営戦略及び毎年度作成される財政見通し資料を広く市民に周知するとともに、その実現に当たっては、今後の社会経済情勢の動向に留意しながら柔軟性を持って、持続可能な事業運営に取り組まれるよう要望します。

令和8年3月11日

一関市長 佐藤善仁様

一関市水道事業経営審議会
会長 二階堂 満

一関市水道事業ビジョン等の策定について（答申）

令和7年4月21日付で当審議会に諮問がありました標記について、慎重に審議した結果、下記意見を付して別添のとおり答申いたします。

記

この答申は、市民生活や市内の経済活動を支える水道事業を今後も安定的に経営していくため、当審議会において活発な議論を重ね、慎重に審議し、まとめたものです。今後10年間の一関市水道事業ビジョン・経営戦略の策定に当たっては、この答申が最大限に尊重されることを期待します。

なお、本ビジョン・経営戦略に掲げる将来像の実現のために、策定後の本ビジョン・経営戦略及び毎年度作成される財政見通し資料を広く市民に周知するとともに、その実現に当たっては、今後の社会経済情勢の動向に留意しながら柔軟性を持って、持続可能な事業運営に取り組まれるよう要望します。